

深川養鶏の育成率検討会が開催

深川養鶏農業協同組合の育成率検討会が開催されました

分類：新着ニュース, 農業

登録日：平成 28 年 7 月 22 日 | 下関農林事務所畜産部(西部家保)

7月20日、肉用鶏の専門農協である深川養鶏農業協同組合において、組合主催の育成率検討会が開催されました。当組合は、山口県及び島根県西部に生産農場があり、肉用鶏の生産・販売は、長門市の基幹産業となっています。

本検討会は、飼料会社のアドバイザー、ワクチンメーカーの技術者、島根県の益田家畜保健衛生所および当所の職員が出席し、組合傘下の肉用鶏の生産性向上を目指して意見交換を定期的に行うことを目的としています。協議の中で、肉用鶏の育成率(出荷成績)、ワクチンによる抗体価の状況等、それぞれの部署からの分析・アドバイスが行われました。当所からも、海外の高病原性鳥インフルエンザに関する情報や夏季の暑熱に対する情報提供を行いました。

今後も当所では関係機関と連携して、養鶏農家の安定した経営を継続・発展できるよう支援を行っていきます。



検討会の風景

問合せ先

メール：a171073@pref.yamaguchi.lg.jp 電話：083-766-1018